

4.5 インチミラー型

W 録画ドライブレコーダー

取扱説明書

Car-078



輸入元：ベスト・アンサー株式会社
より良いものを、よりやすく、よりスピーディーに
お問い合わせ先： 078-381-9689
(平日 10:00~17:00)
メール：info@bestanswer.jp



目次

安全上の注意	P3
はじめに（※重要）	P4
各部品の名称	P5
セット内容の確認	P6
配線の取り付け前に設定を行いましょう	P6
※上書き保存	P7
※Gセンサー	P8
※監視カメラモード、スクリーンセーバー	P9
日時設定方法	P10
フォーマット方法	P11
設定など完了してからSDカードをセットしましょう	P13
取り付け準備・取り付け方	P15
録画・静止画撮影	P19
録画・撮影した映像の確認	P22
よくある質問	P23
本体リセット	P23
保証書	P26

このたびは、当社製品をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになってから、正しくお使いください。本書は大切に保管してください。

ご使用時の注意事項

●本製品は精密機器です。強い衝撃を加えたり、落下させたりしないでください。過度の衝撃や振動の加わる場所、高温・多湿の場所、直射日光が長時間当たる場所での使用や保管は避けてください。

防水、防塵仕様ではないので、温度、湿度の特に高い場所（自動車のダッシュボードや、暖房器具の近くなど）や直射日光が長時間あたる場所、静電気の発生しやすい場所、ホコリの多い場所には置かないでください。

内蔵充電電池の液漏れ、破裂、感電、故障、火災の原因となります。

安全上の注意：

- 運転中に操作（視聴）をしないで下さい。
- 発煙、異音、異臭などが発生した場合は直ちに使用を中止してください。事故や火災の原因となります。
- エアバックや運転などの安全上の妨げにならないように使用して下さい。
- ご使用の前に付属の取り扱い説明書を熟読し、機器の知識・安全上の注意事項について習熟してから正しくご使用ください。
- 本製品の付属品はすべて専用部品ですので代用品の使用や改造等すると事故につながりますのでご注意ください。
- 本製品は電磁波を発生する場合があります。
- 本製品は高温の状態では長時間使用すると低温やけどを起こす可能性がありますのでご注意ください。
※長時間使用後はしばらく時間を置いてからご利用ください。
- 本製品は常時記録型の映像を記録する装置ですが全ての状況において映像を記録することを保証したものではありません。
- 本製品を取り付けたことによる車両・車載品の故障・事故等などの損害について弊社は一切その責任を負いません。
- 商品の仕様・外観は改良のため予告なく変更する場合があります。
- 写真は、イメージであり実際と異なる場合がございますので予めご了承下さい。

1、はじめに（※重要※）

初回ご使用時は十分に初期充電を行ってからご使用ください。

商品到着後は初期充電をお願い致します。

充電方法：

車のエンジン始動後に付属品の充電コードをドライブレコーダーのUSB接続口とシガーソケットにしっかりと差し込んでから充電を行ってください。



充電接続ができている場合：
液晶画面右上にある白い雷マークがついていればきちんと充電できています。

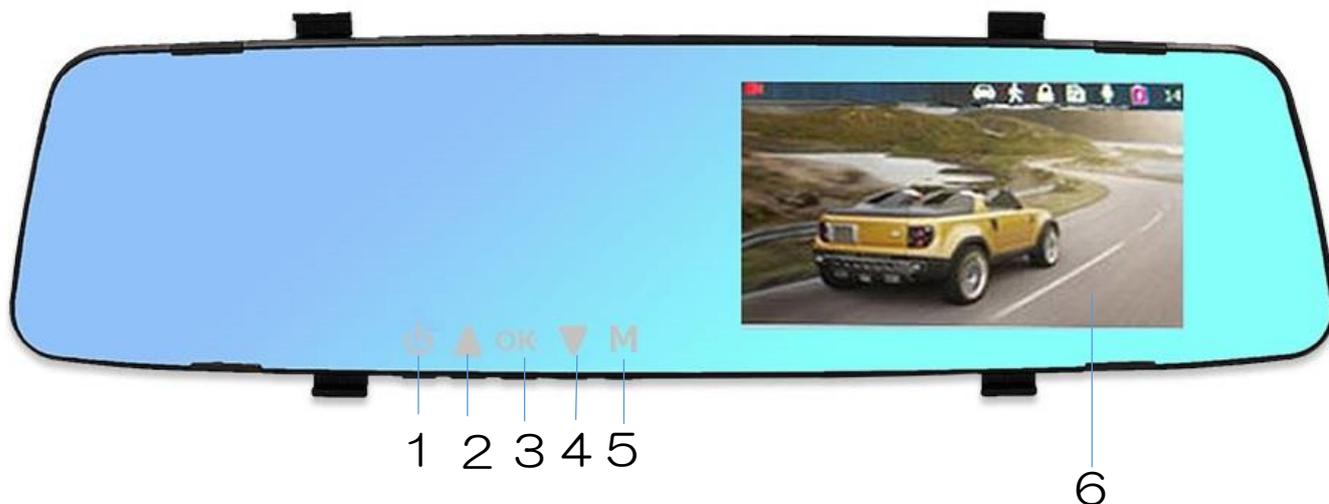
※シガーソケットに接続後ドライブレコーダーは自動的に電源が ON になり数秒後に録画画面が表示されますので、手動で電源ボタンを長押ししていただき本体の電源を切った状態で30分程の初期充電をお願い致します。

※初期充電をせずに直接使用する場合、画面が暗くなったり、点滅、画像エラー、設定がリセットされたりすることがありますので必ず初期充電を行ってください。

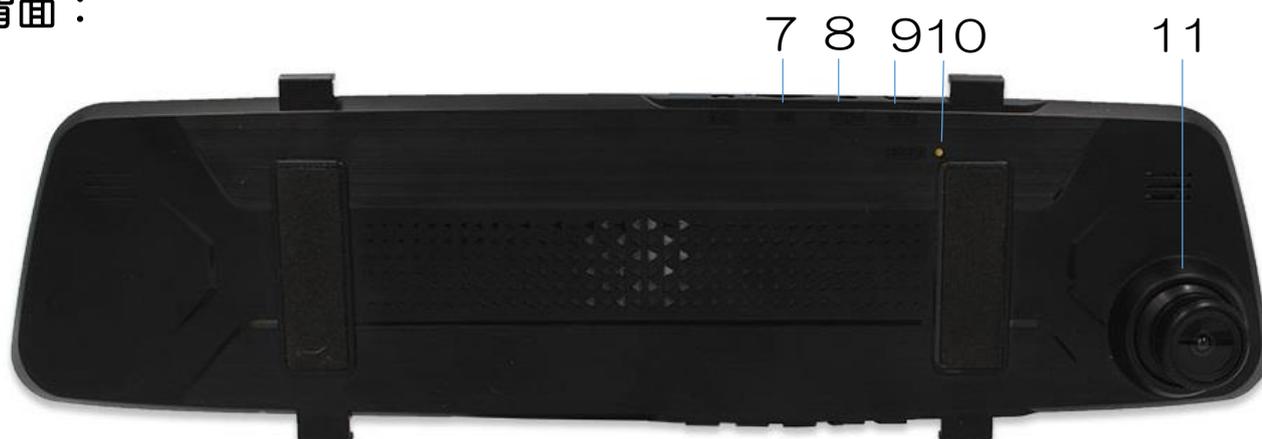
※初期充電の際は先にシガーソケットを接続してからエンジンをかけるとスタート時の過電圧で製品が破損する可能性がありますのでご注意ください。

2、各部品の名目

正面：

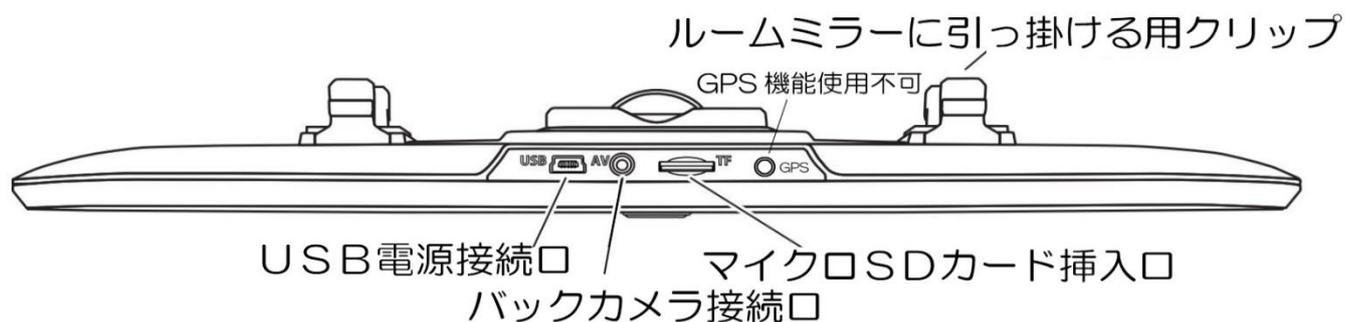


背面：



- 1、電源ボタン 2、アップボタン 3、OK ボタン 4、ダウンボタン
5、M ボタン 6、液晶モニター 7、カード挿入口 8、バックカメラ挿入口
9、USB 給電口 10、リセットボタン 11、フロントカメラ

上側：



3、セット内容の確認

お取り付け前にセット内容が不足していないかご確認ください。

- 1、ドライブレコーダー本体 2、充電コード 3、取り付けバンド



- 4、バックカメラとバックカメラ延長コード

- 5、日本語取扱説明書



※写真はイメージ図です。実物ではありません。

配線の取り付け前に設定を行いましょよう

シガーソケット用充電コードを車のシガーソケットに差し込みドライブレコーダー本体のUSB口に挿入してください。

車のエンジンを ON にするとドライブレコーダーの電源が自動的に入り液晶画面が表示されます。

※先にSDカードを挿入しないでください。

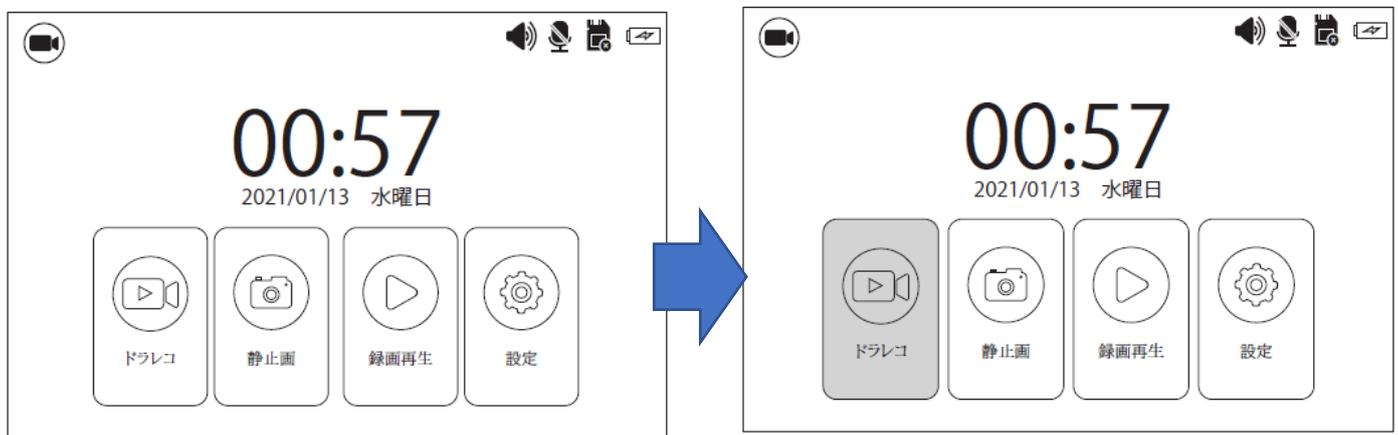
SDカードを挿入した場合、電源を入れると自動的に録画が開始されます。

その際はOKボタンを押し、録画を停止してから各種設定を行ってください。

※設定を行う場合、必ず充電した状態で行ってください。

■設定内容

M ボタンを軽く押し、トップメニューを出し、設定を行ってください。



アップボタンあるいはダウンボタンで移動、選択された項目の背景が暗くなります。



【設定】まで移動し、OK ボタンを押します。
設定のメニューが表示され、設定を行ってください。

設定		
	音量	3 >
	解像度	1080FHD >
	静止画画質	12M >
	上書き保存	1分 >
	露出	+0.0 >
	夜間録画	オフ >

●音量：

ボタン操作の音量を調整します。(0、1、2、3)

初期設定 3

●動画解像度：

1080FHD(1920×1080)/1080P(1440×1080)/720P(1280×720)から選択

初期設定 1080FHD(1920×1080)

●静止画画質：

12m(4030×3024)/10m(3648×2736)/8m(3264×2448)/
5m(2592×1944)/3m(2048×1536)/2MHD(1920×1080)/
1.3m(1280×960)/

お好みのサイズを選択して、設定してください。

初期設定 12m(4030×3024)

●上書き保存：1分/2分/3分

1分/2分/3分/を選択し、1ファイル当たりの保存時間を設定します。

SDカードがいっぱいになったら、通常録画の古いデータから上書きしていきます。

初期設定 1分

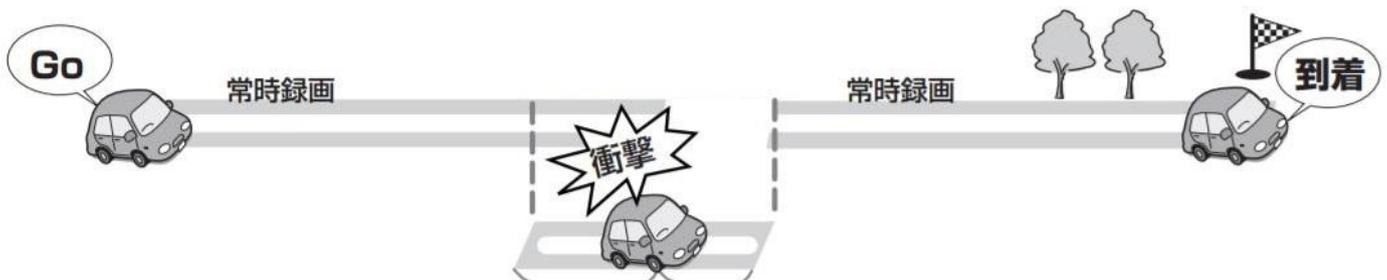
●露出：+1.0/ +2/3/ +1/3/ +0/ -1/3/ -2/3/ -1.0
初期設定 0

●夜間録画： オフ/オン
オンにすると夜の録画を強化します。
初期設定 オフ

●動体検知：オフ/オン
チェックを入れるとオンになり、チェックを外すとオフになります。
基本はオフに設定しています。
※動体検知機能は画面に変化があると自動的に撮影を開始する機能です。
動きがなくなりしばらくすると録画を停止して動体検知に戻ります。
※電源が入った状態でしか作動しません。
※運転中に基本的オフにします。オンにすると信号待ちや渋滞の時、録画が停止してしまいます。
初期設定 オフ

●録音：オフ/オン
※オンにすると録画中に録音されます。オフにすると録音しなくなります。
初期設定 オン

●Gセンサー機能：オフ/低/中/高
Gセンサー衝撃感知の感度を変更します。
不要の場合はオフに設定してください。
常時録画中に衝撃や振動を検知すると、その録画ファイルに自動的にロックをかけて、上書きされないファイルにする機能です。



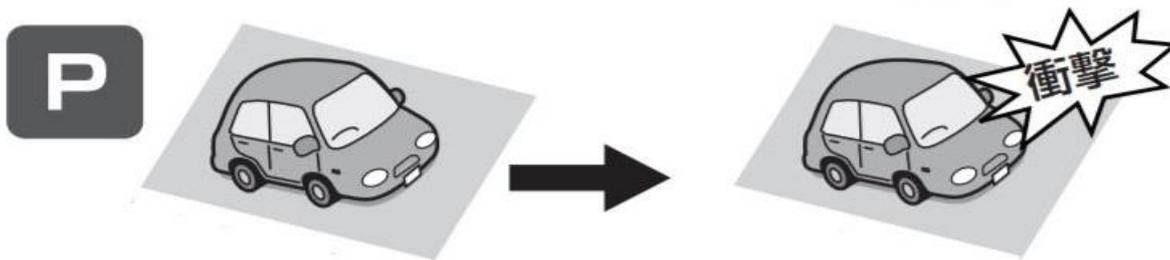
※ロックがかかったファイルが溜まってしまった場合、SDカード容量不足の表示が出ます。

※車や道状況によってGセンサー感知する頻度が違うので、よくSDカード容量不足の表示が出たり、全然反応しなかったりする場合、Gセンサーの感度を設定し直してください。

※Gセンサー機能が不要ない場合はOFFに設定してください。

※Gセンサーをオフにすると衝撃を検知した際にも録画ファイルにロックがかからないため、SDカードがいっぱいになると古い順から上書きされていきます。
初期設定 オフ

●駐車監視モード：オフ/低/中/高



※エンジンを切った後、車が衝撃を受けると、本機の電源がオンになり録画が開始されます。録画が終了すると本機の電源がオフになり、待機状態に戻ります。

●監視カメラモードの録画時間は、衝撃検知から約20秒です。録画されたファイルにはロックがかかるため、上書きされません。ロックがかかったファイルが溜まるとSDカードの容量不足の原因になりますので、定期的にSDカードをフォーマットすることをお勧めします。

●監視カメラモードは衝撃を検知してから数秒後に録画が始まります。乗車や降車時のドアを閉めたときの振動を検知して、録画モードが作動することがあります。感度以上の振動があっても、自動録画がされないことがあります。

●内蔵バッテリーが充電されている場合しか作動しません。

初期設定：オフ

●スクリーンセーバー起動時間設定：オフ/5秒/10秒/30秒

※スクリーンセーバーを5秒/10秒/30秒に設定すると、録画開始後から設定した時間がたつと画面が消灯されるようになります。消灯されても録画は続行されています。オフに設定すると録画モニターが表示されたままになります。

液晶を消してルームミラーとして使用したい場合、オフ以外に設定してください。

電源ボタンを軽く押しても手動でスクリーンセーバーのオン/オフができます。

初期設定：オフ

●オートシャットダウン：オフ/30秒/1分/3分

録画されていない状態で自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。

初期設定：オフ

●言語:言語を変更します。

標準設定は日本語になっています。

●日付：日時/時刻の設定を行います。

OK ボタンを押すと日付設定画面が表示されます。

設定	
 言語	日本語 >
 日付	2021/01/13/00:57:00 >
 フォーマット	>
 デフォルト設定	>
 1.00 バージョン	>

アップボタンとダウンボタンで数字を調整し、OK ボタンで次の項目へ移動します。
年/月/日/時/分/秒まで設定してください。

設定完了後、M ボタンを押すと設定メニューに戻ります。

設定	
 言語	日本語 >
 日付	57:00 >
 フォー	>
 デフ	>
 1.00 バージョン	>

日付

2021 / 01 / 13

20 : 53 : 55

- フォーマット：マイクロSDカードをフォーマットします。
SDカードを初期化してSDカード内のデータをすべて消します。
- ※SDカード容量不足が出た場合、必ずフォーマットを行ってください。
- ※定期的にフォーマットすることによってカードが長持ちします。

1、メニューボタンを押し、アップボタンあるいはダウンボタンでフォーマットまで移動します。

設定		
ABC	言語	日本語 >
🕒	日付	2021/01/13/00:57:00 >
🗑️	フォーマット	
🔄	デフォルト設定	>
1.00	バージョン	>

2、OKボタンを押すと下記画面が表示されます。

設定		
ABC	言語	日本語 >
🕒	日付	57:00 >
🗑️	フォーマット	
🔄	デフォルト設定	>
1.00	バージョン	>

3、アップボタンあるいはダウンボタンで【確認】まで移動します。

設定		
ABC 言語	フォーマット	日本語 >
🕒 日付	キャンセル	57:00 >
* フォーマット	確認	
🔄 デフォルト設定		>
1.00 バージョン		>

4、確認が青く光った状態でOKボタンを押すとフォーマットが開始されます。

設定		
ABC 言語	フォーマット	日本語 >
🕒 日付	少々お待ちください	57:00 >
* フォーマット		
🔄 デフォルト設定		>
1.00 バージョン		>

※SDカードを挿入した状態で、フォーマット中にはならない場合、SDカードの不良の可能性ががあります。

5、完了すると元の画面に戻ります。

設定		
ABC 言語		日本語 >
🕒 日付	2021/01/13/00:57:00	>
* フォーマット		
🔄 デフォルト設定		>
1.00 バージョン		>

SDカードにデータの記録が繰り返されると録画可能時間が減少したりデータの読み込みや書き込みに時間がかかったりします。安定してお使いいただくために1～2週間に一度SDカードのフォーマットを行ってください。

「SDカードの容量がいっぱいです」などのエラーメッセージが出た場合はフォーマットや動画の削除をすることによって解決されます。

エラーメッセージが出た際にフォーマットをしないと電源が付かなくなる可能性がありますので必ずフォーマットか動画の削除のするようにしてください。

フォーマットするとSDカードにあるデータがすべて消えますので大切なデータがあった場合はパソコンなどへ移してから行ってください。

※下記の場合は必ず1～2週間に1回SDカードをフォーマットするようにしてください。

※当製品にマイクロSDカードを初めて使用する場合、必ずフォーマットを行ってからお使いください。

※駐車監視モードをONに設定される場合

※GセンサーをONに設定される場合

※長時間運転される場合

※マイクロSDカードが認識されない場合

※マイクロSDカードがいっぱいという表示が出た場合

※ドライブレコーダーが正常に動いているのに、エラー画面が出た場合には

大切なデータがございましたら、パソコンなどにデータを移行してからパソコンあるいはドライブレコーダー本体でフォーマットを行えば改善される場合があります。

●デフォルト設定：工場出荷状態に戻す設定

●バージョン

生産ロットのバージョンを表示します。

設定を完了させてからSDカードをセットしましょう

※本製品の使用にはマイクロSDカード（別売）が必要です。

※マイクロSDカードとアダプターの使用方法。

（アダプターはパソコンに挿し込む際に使用します）

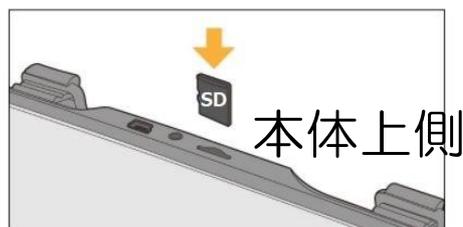


パソコン or カードリーダーに差し込み、データを読み込みます。

本製品へのマイクロSDカードの挿入方法

※本体上部のマイクロSDカード挿入口にSDカードの向きに注意し指の爪でカチッと音がするまで確実に奥まで差し込んでください。(本体より3mmほど奥へ押し込む必要があります。)

※ドライブレコーダーの液晶画面とSDカードが印字されている面を合わせて差し込んでください。



※SDカードスロットとドライブレコーダー本体の手前側の間に隙間があるので、隙間に無理やり押し込まないでください。感覚としてカードスロットに入れる際、カード残り3mmほど軽く入り、その先爪で本体の奥3mmほど押し込んでからカチッと音がするまで押し込みます。最初から無理やり押し込む感覚の場合、カードを隙間に押し込んだ可能性があります、ご注意ください。

使用可能なSDカード	
SDスピードクラス	SDカード容量
CLASS 10	8G ~ 32G
SDスピードクラスとは SD機器とSDカードとの転送速度の最低限を保証する	



※推薦するメーカー：サンデスク

※SDカードを取り出す際はカードをカチッと音がするまで押し込みカードが少し出たらゆっくりと引き抜いてください。

※すべてのファイル（動画、写真、音声）がマイクロSDカードに保存されます。

※マイクロSDカードは最大32GBまで対応しています。対応は8～32GBになります。SDカードはCLASS10の製品を推奨します。

※マイクロSDカードの抜き差しは必ずドライブレコーダーの電源を切った状態で行ってください。データが消えたり破損したりする可能性があります。

※マイクロSDカードを差し直した場合は反応するまでに数秒ほど時間がかかることがあります。

※カードが破損すると録画したり、しなかったりします。定期的に録画の情報を確認してください。録画漏れなどがございましたら、新しいカードをご交換ください。

※ドライブレコーダーがフリーズしたり、反応が悪くなったりすると、別のメーカーのカードをご利用ください。

※長時間の使用によりメモリーカードが高温になった場合は直接手で触れないでください。火傷の原因となります。

※油がついた手や濡れた手でメモリーカードを触らないでください。
損傷、故障の原因となります。

※マイクロSDカードには相性がございます。万一認識しなかったり録画がフリーズしたりする場合は別のSDカードをお試しください。

※使用したことがあるSDカードを利用する場合は必ずフォーマットしてからお使いください。万が一認識されない場合はパソコンにてフォーマットを行ってからお試しください。

※フォーマットを行うとSDカードにあるデータが全て消えてしまいますので大切なデータがあった場合はパソコンなどへ移してから行ってください。

※SDカードはデータの記録が繰り返されると録画可能時間が減少したりデータの読み込みや書き込みに時間がかかったりします。安定してお使いいただくために1～2週間に一度SDカードのフォーマットを行ってください。

※ドライブレコーダーが急に使えなくなった場合（録画面面が白くなったりすぐに電源が落ちたりするなど）はSDカードを抜き電源を入れ直して録画以外の機能が正常に作動するかどうかを確認してください。SDカードなしの状態でも正常に作動する場合はSDカードに不具合がある可能性があります。

※SDカードは消耗品ですので定期的に新しいSDカードに交換することをお勧めします。長期間ご使用になると不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合やSDカードエラーの原因になり使用ができない場合があります。SDカードの消耗による損傷について弊社は一切責任を負いません。

※本機をご使用中にデータが消失した場合でもデータ等の保証について弊社は一切その責任を負いません。

取り付け準備・取り付け方

●取り付け位置を確認する

温度湿度の特に高い場所（自動車のダッシュボードや、暖房器具の近くなど）や直射日光が長時間あたる場所 静電気の発生しやすい場所 ホコリの多い場所には置かないでください。内蔵充電電池の液漏れ・破裂・感電・故障の原因となります。

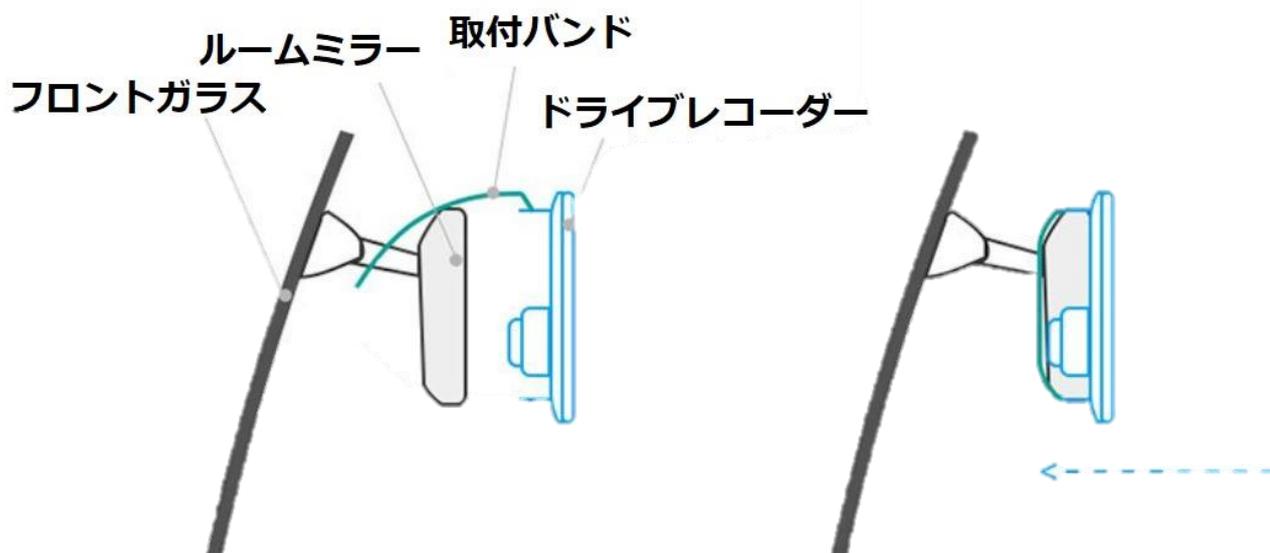
①シガー電源ケーブルを接続する

付属のシガー電源ケーブルのUSB端子をドライブレコーダー本体上部にあるUSB接続口に差し込んでください。

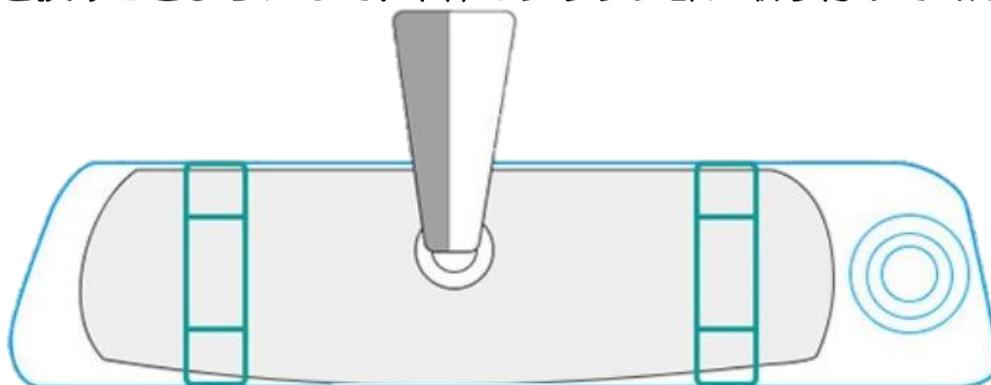
※バックカメラも取り付ける場合、バックカメラの延長コードをドライブレコーダー本体の上部にある接続口に差し込んでください。

②ルームミラーに装着してください。

A.取り付けバンドを本体のクリップ部につけ、ルームミラーに合わせてください。



B.ルームミラーを挟みこむようにして、本体のクリップ部に取り付けてください。



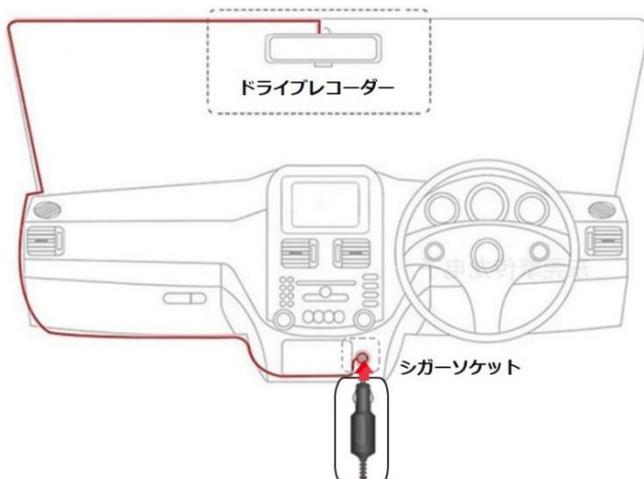
注意

・運転時の視界や操作を妨げないでください。

③電源ケーブルを取回す

ドライブレコーダー本体をルームミラーに取り付けた後、市販のケーブルフックなどを使いシガー電源ケーブルの配線进行处理していきます。

●配線例



※イラストはあくまでも一例です。

お客様の車種に合わせて配線してください。

※ドアを開閉しケーブルが挟まれないかを確認してください。

④バックカメラを取り付ける

付属のバックカメラを本体と接続することで後方の映像を確認・録画することができます。

バックカメラを固定用ネジもしくは両面テープ付スポンジを使い、取り付けます。バックカメラを固定した後にバックカメラケーブルを市販のケーブルフックなどで配線処理していきます。

※バックカメラの電源はレコーダー本体から常時供給されます。

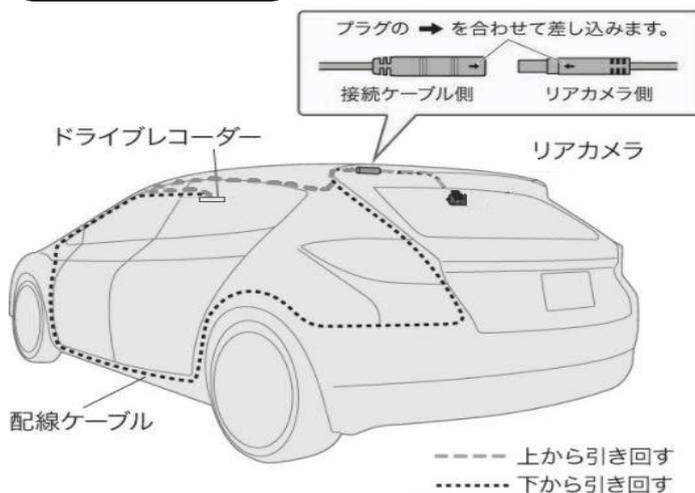
1、車内設置方法

車内配線を行いながら後部ガラスの上面にカメラを設置し上下の角度をモニターの確認をしながら合わせます。



※画像がイメージ図です。実物と異なります。

●配線例

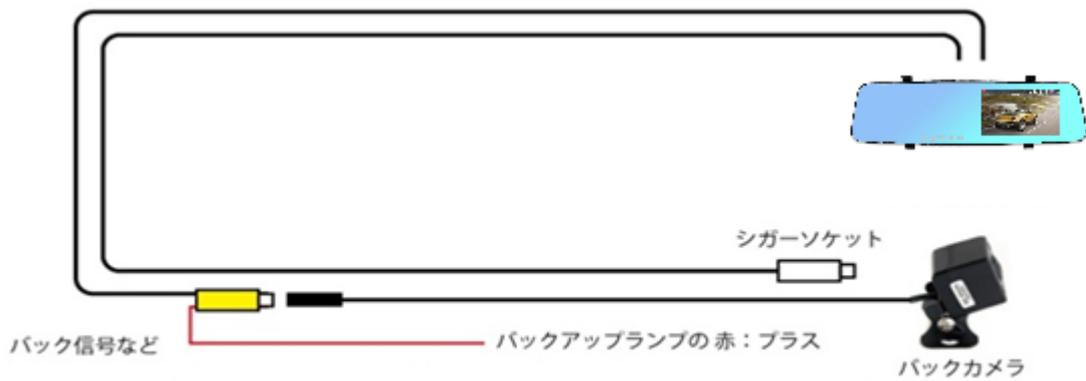


※イラストはあくまでも一例です。

お客様の車種に合わせて配線してください。

※ドアなどを開閉しケーブルが挟まれないかを確認してください。

配線の簡易図面：



※画像はイメージ図です。

※バックカメラ用コード（赤配線）について

- このコードをバックランプ等のプラスに接続していただくとバックギアと連動しバックカメラの映像がモニターに表示しガイドラインも表示されます。
- このコードを接続しなくても本商品はバックカメラの録画機能としてご使用いただけます。ただしバックギアと連動しないため、**バック時の後方映像を確認したい場合は、アップボタンで切り替えることとなります。**

※ガイドラインの表示は角度によっては正しく表示されませんので必ず直視にて後方確認を行ってください。

※運転中の事故等の責任は一切負いかねますのでお客様自身で安全運転を心掛けて下さい。

2、車外設置方法

後部ナンバープレート上部に設置を行います。

整備工場等へご依頼下さい。

※画像がイメージ図です。現物と異なります。



※使用上の注意

車のバック時にはモニターだけに頼らず背後周辺の人物等にも十分に注意をして必ず直視にて後方確認を行ってください。

運転中の事故等の責任は一切負いかねますのでお客様自身で安全運転を心掛けて下さい。

⑤エンジン始動後カメラの角度を調節する

エンジン始動後に録画面面に切り替わりますので画面の映像を見ながらカメラの角度を調節してください。

※お好みに合わせて角度の調節をしてください。

これで取り付けが完了です。

録画・静止画を撮影する

●動画撮影モードで撮る(フォルダ名：MOV●●●●●)

①エンジンをかけ電源をONにする

エンジンをかけるとドライブレコーダーの電源が自動でONになり、録画できる画面になります。

②自動録画する。(通常録画)

オート撮影モードをONにしている場合、録画面面で自動的に録画が始まります。録画中に液晶画面の左上のビデオマークの隣には録画時間のカウントが始まります。



■手動録画

ドライブレコーダーの電源が入った状態で、OKボタンを押すと手動で録画を開始/終了することができます。

※通常録画で保存されたファイル名はMOV●●●●●で保存され、SDカードの容量がいっぱいになると自動で古いファイルから上書き保存されます。

■衝撃感知録画（上書きされません）

1、Gセンサー機能(フォルダ名：LOC●●●●●)

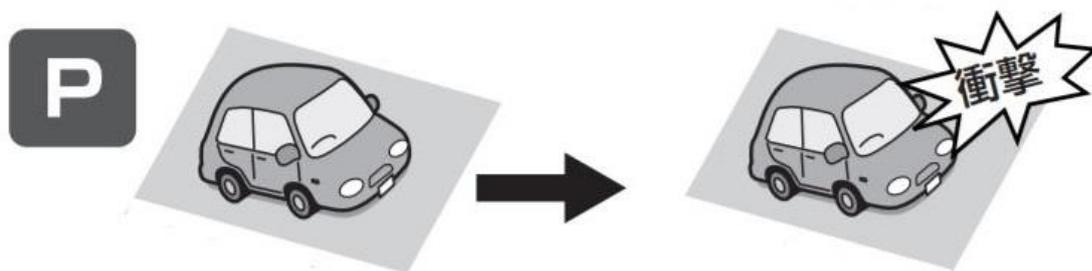
録画中衝撃を検知した際、その録画ファイルの映像にロックをかけ記録保護します。衝撃感知で録画された映像は自動で保護されSDカードの容量不足になっても上書きされません。保存されたファイル名はLOC●●●●●になります。

SDカード容量不足の原因になります。

2、監視カメラモード

チェックを入れると監視カメラモードが作動することになります。

① エンジンを切った後に衝撃や振動を感知した際に数秒後に録画が開始されます。



- ・録画ファイルは1ファイル約15秒程度で保存されます。
- ・内蔵バッテリーがない状態では録画が開始されません。
- ・車を降りた時、ドアを閉めた際の衝撃でも稼働することがあります。
- ・保存されたデータは上書き保存されないようにロックがかかりファイル名がLOC●●●●●になります。
- ・このファイルが溜まるとSDカード不足の原因となります。
その場合はSDカードをフォーマットするようにしてください。

②エンジンをかける

エンジンをかけると監視カメラモードが終了し、自動で電源がONになります。

※手動録画をロックします。録画中にモードボタンを押すとその録画ファイルをロックします。

■静止画撮影

録画が停止中にMボタンを押すと、トップメニューが表示され、アップボタンあるいはダウンボタンで【静止画】まで移動し、OKボタンを押す、静止画撮影モードに変わります。OKボタンを押すと静止画を1枚撮影します。

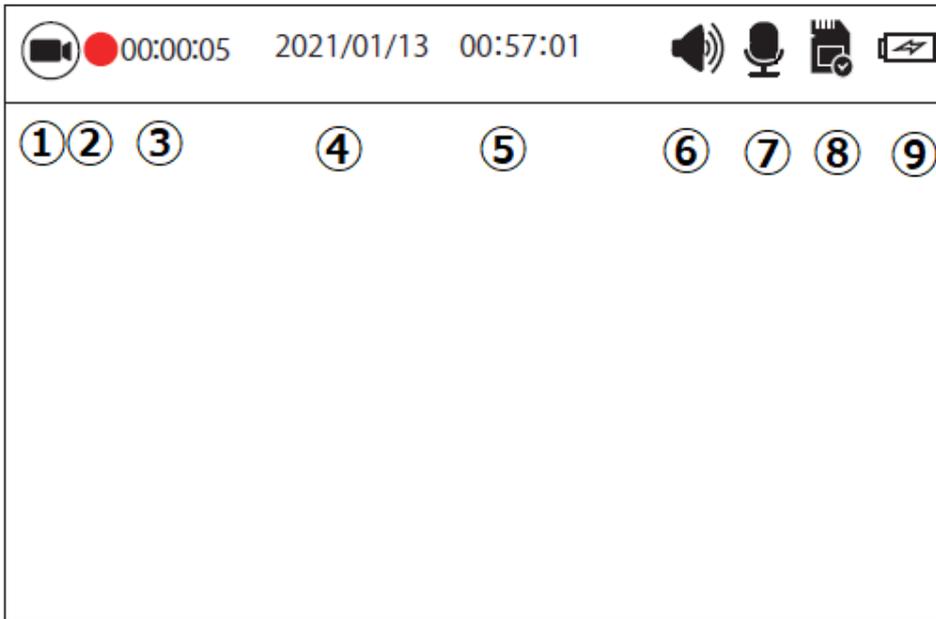
SDカードの容量が一杯になると静止画撮影はできません。



■**常時録画**(保存フォルダ：ドライブレコーダー本体は A、バックカメラは B)
エンジンをかけてから切るまで連続で録画し続けます。
録画時間を上書き保存設定から 1 分・2 分・3 分と切り替えることができます。
SDカードの容量が一杯になると自動で古いファイルから上書き保存されます。

動画録画中の画面マークについて

マークに斜線が入りましたら OFF に設定していることになります。



①録画モード

②録画中に赤く点滅します。

③録画タイマー表示

録画中にタイマーが表示されます。録画していない場合表示されません。

上書き保存を3分に設定されている場合、03:00 まで数えると 00:00 から再スタートします。

④日付

設定された日付が表示されます。

⑤設定された時間が表示されます。

⑥操作音の音量表示

⑦録音表示 斜線が入りましたら、録音がオフになります。

⑧マイクロSDカード 挿入されていないとマークの右下側に×が表示されます。

⑨バッテリー表示

白い雷マークの場合、充電がされています。

スクリーンセーバーをオフに設定した場合、液晶画面が表示されたままでは電力消耗により、充電した状態でも、本体のバッテリーにはあまり貯まりせん。電力不足などの表示が出た場合、一度液晶画面を消していただき、充電を行ってください。

※設定によって液晶画面の表示内容が異なりますが、設定画面の項目にあるマークが表示しているのので、表示されたマークはその設定した項目内容になります。

設定項目によって表示されないマークもあります。

●録画面面表示の切り替え

ドライブレコーダーとバックカメラが同時録画なので、液晶モニターに録画面面が2つあります。

ダウンボタンで録画面面の表示を切り替えます。標準はドライブレコーダーが大画面、バックカメラが小画面、ダウンボタンを1回ずつ押すと画面が切り替わります。

録画・撮影した映像の確認

●ドライブレコーダー本体で確認する方法

①M ボタンを1回押すとトップメニューが表示されます。

②アップボタンあるいはダウンボタンで【録画再生】まで移動し、OK ボタンで再生画面に変わります。

ファイル名：

MOVA：レコーダー本体が録画した通常の録画ファイル

MOVB：バックカメラが録画した通常の録画ファイル

Mから始まるファイルのデータは上書きされるデータとなります。

SDカードがいっぱいになると古いデータから上書きします。

LOCA：Gセンサーや監視カメラモードが作動し、本体が録画したファイル

LOCB：Gセンサーや監視カメラモードが作動し、バックカメラが録画したファイル

Lから始まるファイルのデータは上書きされないデータとなります。

SDカードがいっぱいになったら、SDカード容量不足という表示が出ます。この場合、SDカードをフォーマットしてください。

A、ファイルの再生

再生したいファイルをアップボタンとダウンボタンで移動して選択し、OK ボタンを押すと再生されます。

B、ファイルの削除、保護

再生モードの状態では、削除したいファイルまで移動し、M ボタンを長押しすると、削除あるいは保護する選択画面が表示され、アップボタンあるいはダウンボタンで確認まで移動し、OK ボタンで決定します。

※LOC●のファイル名のデータはこの方法では削除できません。SDカードをフォーマットすることで削除されます。

●PCで録画ファイルの確認

パソコンにカードを読み込む

撮影したデータをパソコンで見るには、microSD カードを本体から抜きカードリーダー(別売)や付属のアダプターなどでパソコンに読み込ませます。

●マイコンピュータの所にSD (D:) (パソコンにより表示が異なります) が表示され、クリックするとDCIMファイルが表示されます。

●DCIMファイルをクリックするとDCIMAとDCIMBの2つのファイルに分けられています。

DCIMAはドライブレコーダー本体が撮影した動画や静止画のデータになります。

DCIMBはバックカメラが撮影した動画や静止画のデータになります。

ファイル名の種類：

MOV●から始まるファイルは通常録画データです。SDカードがいっぱいになると古いデータから上書きされます。

LOC●から始まるファイルは監視カメラモードやGセンサー機能が作動し、録画したファイルです。こちらのファイルにはロックが掛かっており、SDカードがいっぱいになっても上書きされません。フォーマットによって削除可能です。

PIC●は静止画のデータです。

●よくある質問

1、日付がリセットされます。

●ドライブレコーダー本体がきちんと充電出来ていません。

シガー電源がきちんと差し込まれ赤いランプが点灯しているかを確認してください。

●駐車監視をONにしている場合、ドライブレコーダー本体のバッテリーを消耗している可能性があります。

2、製品が稼働しない、電源が付かない、画面が真っ黒になり、反応しない。

●シガー電源の故障やバッテリーの電圧不足あるいはシステムのエラーが原因だと考えられます。

A、シガーソケットの接続を差しなおします。

B、本体リセットを行います。 SDカードを抜いていただき、本体の裏にあるリセットボタンを長押しドライブレコーダーを再起動してください。



電源が付かなくなった場合、

SDカードを抜いた状態で本体裏のリセットボタンを先端がとがったもので長押ししてください。

その後、電源をONにし、SDカードのフォーマットを行ってください。リセットしても改善されない場合は弊社にお問い合わせください

3、エンジンを切ったときすぐに電源がオフになる。

- シガーソケットが故障していないかをチェックし、故障していない場合は液晶画面をOFFにした状態でシガーの電源で本体の充電を十分に行ってください。

4、エンジンを入れたときすぐに電源がオフになる。

- SDカードを抜いていただきSDカードがない状態でドライブレコーダーの電源を入れます。正常に映る場合はSDカードの不良の可能性があります。
- シガーソケット電源が故障していないか確認してください。

5、記録した静止画が表示されないあるいは壊れている。

- SDカードの読み取り速度が遅い可能性があります。CLASS10のマイクロSDカードをご利用ください。
- SDカードが破損した可能性があります。新しいカードに交換してください。

6、再生時に音が出ない

- 動画音声切替がOFFになっている可能性があります。ONに設定してください。

7、上書き保存を設定しているのに上書き保存されていない

- 保護されている(ロックがかかっている)ファイルがいっぱいになっているため不要な保護ファイルを削除してください。あるいはSDカードをフォーマットしてください。

8、SDカードを挿入したのにSDカードを挿入してくださいと表示される

- 数秒たっても反応しない場合は一度SDカードをフォーマットしてみてください。
- SDカードが奥まできちりと入っていない可能性があります。

9、走行中画面を消したい。

- スクリーンセーバーをOFF以外に設定してください。設定していただいた時間が経過すると画面が消えます。

10、従来使用していたカーナビのテレビ(地デジ)がワンセグしか視聴出来なくなりました。(ラジオの電波が悪くなった)

- 本製品作動時のノイズの影響により車内の各電子機器が誤作動を起こすことがあります。対処方法として以下の方法をお試しください。
 - ・受信アンテナの向きまたは場所をかえる。
 - ・当製品と受信機の距離を離す。(40センチ以上)距離を離すことで干渉する場所を確定していただき下記商品を試してみる。
 - ・DCアダプター、コード、ドライブレコーダー本体からノイズ干渉があり、1つつ移動してみてください、干渉する場所を特定します。
 - ・ノイズをカットするフェライトコア・電磁波ノイズ防止シートの使用をおすすめします。(当社では販売はしておりません)家電量販店・ネット、100均などでの購入をお願い致します。

尚、対策を講じても確実にノイズを防止できるものではありません。
※車両によっては、同条件でもノイズの影響うけないことがあります。

1.1、SDカード容量不足のような表示が出ました。

SDカードのフォーマットを行ってください。フォーマットをおこなうことによってSDカードの全データが削除されます。フォーマット方法はP9～P11を参照してください。

●下記の設定内容は上書きされないロック付きのファイルを作りますので一度見直してください。

A、駐車監視モード B、Gセンサー機能

1.2、エンジンをかけると電源が入りますが、すぐに電源がおちてしまいます。

- SDカードが壊れている可能性があります。別のSDカードをお試してください。
- 充電コードの接続がしっかりとされていない可能性があります

1.3、SDカードが録画したり、しなかったりします。

- SDカードが壊れている可能性があります。別のSDカードをお試してください。
- 動体検知をオンに設定されているかどうかをご確認ください。

●製品の主な仕様

- ドライブレコーダーサイズ（約）：30×8×2.8cm
- バックカメラ本体サイズ(約):2.3×2.3×2.4
- 本体重量（約）：190g
- シガーソケットコード長さ：3.5m
- バックカメラ用コード長さ：5.5m
- バックカメラ配線長さ約：0.4m
- モニターサイズ：4.5インチ
- レンズ角度:広角 140度
- 内蔵バッテリー：300mA
- 生産国：中国

保証書

このたびは、本製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。保証規約をよくお読みください。

保証期間:お買い上げ日より6ヶ月

商品名:4.5 インチミラー型 W 録画ドライブレコーダーCar-078

お客様情報:

氏名: 連絡先:

住所:

ご購入日: 年 月 日

販売店情報:

店名: ⑩

住所:

連絡先:

押印のない場合は、購入日のわかるものをご提示ください。

<保証規約>

この製品はお買い上げから半年以内に不具合が発見された場合は修理対応致します。損傷が保証範囲を超えていると判断した場合は修理の際に費用を請求することがあります。

- すべての修理は当社で行います。機械を分解しないでください。
- 事故による破損が認められる。
- 保証の範囲内であれば、修理は無料で行います。
 - ・保証による対応は、該当商品の修理、および交換にかかる費用になります。
 - ・初期不良等があった場合は商品到着後2週間以内に当社宛あるいは販売店にご連絡をお願いいたします。
 - ・初期不良期間を経過しているものに関しましては、往復送料はお客様負担となりますのでご了承ください。
- 送り状あるいは購入明細書などご購入日がわかる書類を大切に保管してください。
- 保証期間内に人為的でない破損があった場合は、無料で修理致します。
- 保証期間を過ぎた場合は、修理費用がかかります。
- 販売店に事前連絡なく商品を返送する、返送途中で商品が紛失、故障した場合は、保証対象外となります。
- 保証の除外事項
 - 1、本製品の説明書に記載している使用方法や取扱方法、注意事項に反した使用。
 - 2、お買い上げ後、運送、落下、損傷などによる不適切な取り扱い。
 - 3、お買い上げ後のお客様による分解、修理、改造。
 - 4、天災（水災、水害含む）など不測の天変地異の結果生じた事故、損害。
 - 5、消耗品の修理、交換費用。
 - 6、本保証書およびご購入証明書類のご呈示がない場合。
- 本製品の使用および不具合の発生によって、二次的に発生した損害、損失などにつきまして、弊社では一切責任を負いません。
- 本製品を装着することにより他の製品、機器に生じた事故や損傷について、弊社では本製品以外について修理費用などは一切保障いたしません。
- お客様及び第三者の故意また過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。